

関連科目、教科書および補助教材	
関連科目	電子回路、通信工学Ⅰ、通信工学Ⅱ
教科書	ネットワーク利用の基礎[改訂版](サイエンス社)
補助教材等	各種電気通信工学関連書、コンピュータネットワーク、マスタリングTCP/IP入門編第3版
学習上の留意点	
<p>本講義はコンピュータネットワークの概要というか基礎の部分を中心に説明している。進歩・発展の速度が速いジャンルであるので、講義だけでなく普段からこのジャンルの情報を積極的に取り込んでほしい。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>通信関係業界への就職を考えている学生は特に重要な科目である。</p>	

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	導入 ネットワークとデジタル通信	・講義の位置づけを説明できる。 ・コンピュータ・ネットワークの概要について説明できる。	(予習) 教科書の該当部分を読んでおくこと (復習) 講義後に、理解できなかった点があれば復習しておくこと
2	データの符号化	・信号の基礎・情報の符号化について説明できる。	
3	ネットワークの構成	・ネットワークの構成要素について説明できる。	
4	ネットワークの約束事	・プロトコルについて説明できる。	
5	コンピュータ間の通信接続	・コンピュータ間の通信接続について説明できる。	
6	LANを介した接続	・LANの構成と通信の仕組みについて説明できる。	
7	インターネットワーク トランスポート・サービス	・複数のネットワークの接続について説明できる。 ・トランスポート・プロトコルについて説明できる。	
8	中間試験		
9	インターネット	・インターネットの概要について説明できる。	(予習) 教科書の該当部分を読んでおくこと (復習) 講義後に、理解できなかった点があれば復習しておくこと
10	電子メール	・電子メールの仕組みと使い方について説明できる。	
11	ワールドワイドウェブ(WWW)	・ワールドワイドウェブ(WWW)について説明できる。	
12	ファイル転送とリモート・ログイン	・ファイル転送とリモート・ログインについて説明できる。	
13	ネットワーク・プログラミング	・ネットワーク上でのアプリケーションの作成について説明できる。	
14	ネットワークのセキュリティ	・ネットワークのセキュリティ対策等について説明できる。	
	期末試験		
15	まとめ	・学習事項全体のまとめを行う。また授業アンケートを行う。	
総学習時間数			45 時間
講義			30 時間
自学自習			15 時間